

（１）タイトル

キャリアコンって、誰に悩みを相談するの？

～契約終了、怖くない

仕事単価アップ！！

人に貢献しながら稼げる、キャリアの仕事を創りませんか～

＊講師名 ライフデザインプロデューサー 津村治美

成長支援・モチベーションアップが得意。

大学講師、就職支援、行政の人材育成事業の研修担当、企業の課題に合わせた研修の提案・登壇など、広い領域で活動。

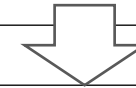
研修講師歴 15 年、個別コンサル約 5000 人

国家資格キャリアコンサルタント、2 級キャリア・コンサルタント技能士

（２）根拠～なぜ今？なぜ私が、開催の根拠や趣旨

- ・人の悩みを真摯に聴く立場になることが多いキャリアコンサルタント。意外と自分自身の悩みはオープンにできていない。
- ・厚労省が 2025 年「キャリアコンサルタント 10 万に計画」を推進しているが、価値ある資格にするには、キャリアコンだけでは足りない。
- ・時給ほぼ最低賃金からスタートした私が、●倍単価をいただけるようになったのは？

趣旨：充実したキャリアの実践者として、得意な領域を明確にし、時間もオカネも豊かになる選択肢を提案したい



（３）参加者

- 現在、キャリアコンの資格を持っているが収入に結び付かない
- 現在は非正規雇用。いつ契約を切られるか不安定で、不安。
- 学び好き。インプットとアウトプットのバランスが取れていない
- 他者の「強みや特性」は見つけ出せるのに、自分のこととなると意外と自分分からない。なかなか、他者に相談できない
- なかなか、この資格では独立は難しいと考えている

（４）アフター

～終了時に参加者が得られるベネフィット、とってもらいたい行動

- 「キャリアコンサルタント＋α（脳傾向性診断の活用）」の仕事に興味をわき、ブレインアナリストの資格をとりたいと思っている
- 今後の仕事について、個別相談に乗ってほしいと思っている

（５）環境～オンラインで実施

ZOOM

（６）ストーリーライン（主な内容）・・・現段階ではストーリーでなく箇条書きでOK

- 別紙を参照ください

（補足）

➡資格は単なる目印

（なくてもキャリアの仕事はできます。）

この資格だけではない、専門性を磨いて、自分の立ち位置をつくり、必要とされることが求められている

③魅力的な LP のヒント

・固定概念を覆すような、「ところがどっこい！」を考える

➡例えば、3つの誤解（間違った方法論・自己認識・環境認識・・・）等、を覆す

➡それに呼応するお客様の声を載せる

※改めて、周辺情報を調べました。

2016 年から国家資格になったキャリアコンサルタントですが、登録者数は 2019 年で 4 万人超。国は、2025 年までに「キャリコン 10 万人計画」を始動。

ニーズが急増しているといっていますが、かなりのレッドオーシャン化が予想されますよね。

とったはいいけれど、使えない資格、難易度低い、オカネだけかかる（養成講座、認定試験、登録費用など 40 万、その他 5 年ごとの更新費用 10 万前後）ものにしたいくないと、思っています。

そのためにも、学びも大事ですが、発信力（アウトプット）、待ちの姿勢ではない仕事領域を広げる努力が必要